

## 授業名称：防災業務における GIS 活用に関する法制度上の課題

### (災害時援護者情報の個人情報保護等)

## シラバス

#### 概要：

本講義では、GIS に関連する法制度（基本法の理念、基本計画が示す目指すべき姿、個人情報保護、二次利用に関するガイドライン等）についてとりあげる。とくに、災害予防・事前対策においては、その際に発生しうる個人情報保護などの問題及びそれに対処するための基本的な考え方について集中的に学ぶ。

#### 学習目標：

- ・基本法の理念、基本計画が示す目指すべき姿、それを踏まえた国の取組状況について理解できる。
- ・防災業務（特に、予防・応急対策）において、地理空間情報の提供・流通を進める際に発生しうる個人情報保護などの課題及びそれに対処するための基本的な考え方について理解できる。

#### 受講対象：

地方公共団体等において、防災に関連する業務に従事し、GIS 活用に取り組んでいる、または取り組もうとしている職員。

- (1) 防災部門に所属し、的確に災害予防対策等を行う人材
- (2) 福祉部門に所属し、災害時の要援護者避難などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (3) まちづくり部門に所属し、防災施設の整備・改良などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (4) 情報部門に所属し、災害情報の集約・可視化・共有などで各部門と協力・連携する人材
- (5) その他防災に関わる業務全般に関して、地理空間情報の活用に取り組む人材

#### 教育手法：

講義（必要に応じ、質疑応答）

#### 担当講師及び講師の必要要件：

政府における検討状況及び国、地方公共団体における実務の実態を把握していること。また、各種ガイドラインを実際に適用した事例、地理空間情報を高度に活用した事例、手法についても知識を保有していること。

#### 参考資料：

- ・ 地理空間情報活用推進基本法、地理空間情報活用推進基本計画
- ・ 地理空間情報の活用における個人情報の取扱いに関するガイドライン、地理空間情報の二次利用促進に関するガイドライン

#### キーワード：

地理空間情報活用推進基本法、地理空間情報活用推進基本計画、地理空間情報高度活用社会（G空間高度活用社会）、個人情報保護 等